

令和4年度 2学期始業式 式辞(R4.8.29)

朝のひんやりとした空気や学校の前庭に響く虫の音にも、秋の気配が感じられる頃となりました。7月29日の終業式からちょうど一か月。2学期の始業式を迎えました。過ぎてしまえばあっという間だったかもしれませんが、30日間の夏休み、皆さんはどのように過ごしましたか。雄山中学校の名を背負い北信越や全国の舞台上で思い切り力を発揮してきた人、体育大会の成功に向けて団活動やマスコット制作等の準備に力を尽くしてくれた人、自由研究に打ち込んだり学力アップを目指して勉強をがんばってきた人、みんなそれぞれに自分の知力や体力・精神力を鍛え、一回り大きくなって学校に戻ってきてくれたことをうれしく思います。そのがんばりの成果を2学期の学校生活に還元し、みんなのために役立ててくれることを期待しています。

一方で、特にお盆明けの夏休み後半には、新型コロナウイルスの感染状況が急速に拡大し、富山県の新規感染者数が2000人を超える日があるなど、2学期の学校生活が心配される状況となっています。7月28日に出された「富山アラート」も9月6日まで延長され、2学期の始まりに際しては「体調に異変がある場合の登校自粛や適切なマスクの着用等、学校や家庭内での感染対策の徹底」が求められています。

2学期はどの学校でもたくさんの行事が計画され、様々な体験を通して大切なことを学ぶことができる、1年間の中心ともいえる学期です。本校でも9月7日の体育大会に始まり、10月3日からの5日間は2学年の「14歳の挑戦」、10月28日には合唱コンクール、その他にも1, 2学年の校外学習等、重要な行事が多く予定されています。その一つ一つが、雄中生の健やかな成長になくてはならない、かけがえのない学びの機会です。できることなら、どの行事も中止することなく計画通りに実施したい。それが先生たちの切なる願いです。これらの行事が、君達中学生の成長に不可欠であるということが、ここ数年の学校生活を通して分かってきたからです。「今しかできない学びがある」「中学時代にしか学べないことがある」。そのことを、先生たちは痛いほどに感じているからです。

だからこそ、全校生徒、教職員が心をつなげて立ち向かいたい。コロナに負けず、2学期のすべての行事と活動を完全にやり切ることに。そして、この挑戦から大いなる成果と学びを獲得し、雄中生全員が大きく逞しく成長する2学期にしたい。そのためには、これまで以上の感染対策が必要です。体育大会や合唱の練習等は、感染防止のために様々な工夫をしなければなりません。このようなことを人任せにせず、リーダーを中心に自分たちで考えて実行してほしいのです。自分たちの学びを確保するために、進んで感染予防を考えた行動をとる。これこそ、生徒自治の雄山中学校が目指す賢い中学生の姿です。雄中生みんなの知恵と工夫で、この難局を乗り切り、「今しかできない学び」を力強く勝ち取ってください。

もう一つ、雄中生自身の力で取り組み克服してほしいことがあります。それは、「自学力」を身に付けることです。私は、素直で、明るい挨拶ができて、何事にも一生懸命に取り組むがんだり屋の雄中生が大好きです。が、この力が身に付け

ば、もっとすごい雄山中学校になるなと思う力、それがこの「自学力」です。「自学力」とは、文字通り「自ら学ぶ力」。この力が、まだしっかりと身に付いていないのでは？と思える人が多いことが、いろいろな調査・アンケートの結果から見えてきました。例えば「学校の授業以外に、普段、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか」との問いに「3時間以上、2時間以上、1時間以上」と答えた人の割合が、それぞれ、富山県全体、全国の平均と比べて**とても少ない**のです。反対に「1日当たりの勉強時間が1時間以内」と答えた人の割合は5割以上と、県や全国と比べて**とても多い**という結果になっています。同じことは「授業時間以外の1日当たりの読書時間」にも見られ、6割もの人が「読書を全くしない」と答えていて、県や全国の平均と大きな差があります。その反対に、ゲームやSNS、動画視聴をしている時間は非常に多く、平日4時間以上ゲームをしていると答えた人がなんと**25%**（4人に1人）もいるなど、県や全国の結果を**はるかに上回**っているのです。そのためか、「家で自分で計画を立てて勉強をしていますか」に「よくしている」と答えた人の割合は**1割程度**と、県や全国と比べて**非常に少ない**結果となっています。

これらの結果をまとめると、雄中生の多くは、学校に来れば授業や行事、部活動に一生懸命に取り組んでがんばっているけれど、学校が終わって一旦家に帰ると、ゲームやSNS、動画視聴に2時間、3時間、4時間と時間を費やし、その結果、家庭学習は1時間に満たず、読書は全くしないという生活を毎日のように送っている人が半分以上もいるということになります。みなさんの生活はどうですか？普段の生活を振り返ってみてください。しかし、このようなやりたいことだけやって面倒なことやしんどいことから逃げている人は、県全体や全国的にはそれほど多くないのです。どちらかというところ、平均とはかけ離れた生活の仕方なのです。世の中の中学生は、もっと家で勉強しているし、読書もしています。こんなにも多くの人がスマホやゲームのとりこになっているわけではありません。

このような生活を何か月も続けていけば、必然的に得るものと失うものがあるでしょうが、失うものの大きさは計り知れません。最終的には、将来、大きな格差となってそのつけを払わねばならないことになります。そうでなくても、1年後、2年後に進路選択や受験で困らなくてもよいように、そこに先生がいてもいなくても、自ら目標を立て、教科書や問題集を開いて学習に取り組める力＝「自学力」を今のうちにしっかりと身に付けておく必要があるのです。それこそが将来の皆さんの人生を明るい方向に導き、切り拓いてくれる力なのですから。

この「**自学力**」を身に付けることを、**2学期最大の目標**にして、自分を思いきり鍛えてあげましょう。そして、「みんなで勉強をがんばろう!」というクラスの雰囲気盛り上げていってください。そんな雰囲気がクラスにできると、みんなの成績が上がりますよ。それは、みんなだけでなく、家族の喜びでもあり、先生たちの喜びでもあり、町全体の喜びでもあります。自分を鍛え成長させる喜びをみんなで味わるように、学校でも家でも、勉強を一生懸命にがんばりましょう。

雄中生みんなが心をついに、いろんなことに挑戦し立ち向かっていってくれることを期待して、2学期始業式の式辞とします。